

令和3年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- | |
|--------------------------------|
| 1 協働体制の確立～組織化のためのラインの形成 |
| 2 様々な視点での教育活動の検討～コロナ禍での教育活動の推進 |
| 3 穏やかな雰囲気環境づくり～人権教育研究校としての実践 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	・学校経営シラバスに基づき、学校経営・教育活動を推進し、生徒・保護者・地域の視点で検証・改善に取り組んだ。 ・コロナ禍における校内外の対応、授業の確保等、状況に応じて臨機応変に適切に取り組んだ。 ・ICT教育に係る取組について、検討・推進等、課題である。	・保護者や地域から支持されるような時代の変化に応じた学校教育の改善・見直しが求められている。今後も、期待・信頼される学校づくりに努めていきたい。 ・進路希望の実現とともに、生徒の可能性を広げ、社会を生き抜くための基本的な資質・態度を身につける教育をさらに推進していただきたい。
改善方策	・ICT推進委員会を中心に、個別最適化されたICT教育の推進・充実に務める。	
学習指導	・生徒の主体性や協働性等、大きな課題として、その育成のため指導の工夫・充実に努めた。 ・ICT教育に係る各教科での研究・研修が今後の課題となっている。	・コロナ禍の中、学級・学年・学校閉鎖が相次いでおり、教育現場も大変であるが、学習指導の工夫や充実に努めてもらいたい。
改善方策	・「深い学び」を実現する授業の在り方に関する研修と実践を進める。 ・ICTを活用した学習指導の充実について、各教科の特色に応じて積極的に取り組む。	
生活指導	・「いじめは絶対に許さない」という姿勢のもと、未然防止の観点から日常的な指導に務めた。 ・ネットモラルに関する指導は、今後も、継続的な個別・集団指導が必要である。	・伝統的に生活指導の充実が図られており、今後も時代に即した指導の充実に取り組んでほしい。 ・SNS上でのいじめやトラブルについて、生徒の実態を踏まえた適切な指導をお願いしたい。
改善方策	・コロナ禍の中での外部関係機関との連携のあり方を工夫し、生活安全指導の充実を図る。	
進路指導	・進路実現に係る分掌・学年等の組織的な連携を密にし、一定の成果を挙げることができた。 ・コロナ禍における大学等と連携した企画・取組について検討・工夫が必要である。	・進学指導が中心となるが、生徒や保護者の期待に応えるような結果が見られる。 ・進路指導についても、従来の実施形態等は難しいと思うが、工夫して取り組んでもらいたい。
改善方策	・コロナ禍の中での外部関係機関との連携のあり方を工夫し、進路・進学指導の充実を図る。	
健康・安全指導	・新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止について、対応策の実施や情報提供等、関係機関との連携を含め、適切に取り組んできた。	・さまざまな制約がある中ではあるが、教育活動が著しく停滞することがないよう、引き続き対応をお願いしたい。
改善方策	・国や道の方針、地域の実情等を踏まえ、今後も適切に対応し、感染拡大防止に努める。	